



令和4年度和歌山県立向陽中学校（学校経営方針）スクールプラン

【和歌山県の目指す人間像】

- ①郷土を愛し、正義を尊び、優しさと誠実さを備え、志をもって、より良い社会の形成に向けて活躍する人間
- ②生涯にわたり自己実現を目指し、社会の形成に主体的に参画する人間
- ③自他の人権を尊重し、知徳体の調和のとれた人間

【校訓】

「自彊不息」「文武両道」「質実剛健」

【教育目標】

豊かな人間性と高い知性を持つスケールの大きな人材の育成

【前年度の学校評価】

- ・学び合いを中心とした授業作りは定着しており、生徒の授業への取組は活発である。GIGAPCの活用について、一定評価を得ているが、更なる工夫が期待される。
- ・多様なリーダーや人材が育っており、各学年、個々の能力を最大限に発揮するとともに、集団として自治的に活動できている。
- ・個人一人ひとりの適切な判断力や精神力の強さを育むことが必要である。

【目指す生徒像】

- ・未来を切り開くリーダーの資質と能力を身につけた生徒
- ・課題を発見、探究し、主体的に判断し、行動できる資質や能力を身につけた生徒
- ・理数の確かな学力と幅広いコミュニケーション能力を身につけた生徒

【3つのVIEW】

STEAMVIEW

コミュニケーションVIEW

環境VIEW

【向陽生として身につけたい力】

・協働（チームワーク）

・行動（アクション）

・探究（クエスト）

発信力

合意形成能力

他者を受け入れる力

一歩踏み出す力

実行力

やりきる力

追究する力

つなぐ力

創造力

【凡事徹底】

生活習慣・学習習慣
人間関係・挨拶・掃除
規則を守る・礼儀

【学校研究課題】 「思考力を鍛える ～クリティカル・シンキングからのアプローチ～」

重点
目標

【確かな学力の向上の推進】

- ・教員の授業力向上
- ・家庭学習習慣及び自立的学習態度の育成
- ・キャリア教育の充実

【人間関係や判断力を育む生徒指導の充実】

- ・教師と生徒の信頼関係の構築
- ・生活習慣や適切な判断力の育成
- ・教育相談体制の充実

【学び合い高め合う集団作りとリーダーの育成】

- ・規律ある中にも温かな学級経営
- ・学校行事の充実とリーダーの育成
- ・学び合いを中心とした言語活動の充実

【中高連携の推進】

- ・教科指導における相互理解
- ・各分掌での積極的な連携
- ・中高生徒間の協働・連携

具
体的
な
取
組

- ・研究部会を中心に授業研究を推進し、全教員が研究・公開授業を実施する。
- ・定期考査、週例テストへの取組や、家庭学習課題の提出・点検を徹底する。
- ・各学年で系統的にキャリア学習を実施し、勤労観や職業観を養うとともに目標に向けて努力する態度を育成する。

- ・生徒の情報交換を密にし、生活の記録や普段からの声かけから信頼関係を築く。
- ・挨拶や掃除の徹底、身だしなみ・携帯電話の使用など規則を守る指導を充実させる。
- ・SCや養護教諭との連携を密にし、教育相談部会を充実させ、生徒の悩みや課題に早期に且つ組織的に対応する。

- ・誰もが活躍できる場を設定し、お互いに認め合える雰囲気醸成する。
- ・各行事における実行委員会の取組を通してリーダーや自治力を育成する。
- ・ペアやグループワーク、プレゼン活動などを通して、学び合いを中心とした授業形態を充実させる

- ・各分掌や教科会などで課題を掘り起こし協議する。
- ・研究授業や公開授業など、指導方法や教材を互いに交流しあう機会を大切にし、連携を深める。
- ・中高の生徒が協働できる機会の創出する。

指
標

全教員による指導案検討会 年3回以上の実施
生徒学校評価の「授業評価2項目」 40P以上
毎日の宿題の提出率 90%以上

生徒学校評価の「教師との相談」項目 40P以上
携帯電話の使用状況調査及び情報モラル講座の開催
教育相談部会 年6回以上開催

生徒学校評価の「行事の充実」 45P以上
生徒学校評価の「生徒の自主性の尊重」 40P以上

職員学校評価の「中高連携2項目」 35P以上
生徒が協働できる機会を1回以上創出